

科目名称：	現代社会と環境	
担当者名：	楠部 孝誠	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
今、地球の各地で起こっている環境問題について、なぜその問題が起こったのか、どのような被害が発生しているのか、今後どう向き合い、どう解決策を探っていくのか、について考えます。最初に網羅的に環境問題の特徴を学び、基礎的な理解を進めます。その後、環境問題の発生過程から見える現代社会の構造的な欠陥を理解し、持続可能な社会をどうつくっていくのかについてそれぞれの立場から考えていきます。個人個人の行動だけでなく、社会変革のために何が求められているのかという大所高所からの視点を同時に意識して、授業に参加してください。		
授業の達成目標・到達目標		
①環境問題を知る・関心を持つ：各地で起こっている環境問題を知るとともに、それぞれの問題が私たちの生活と直接・間接に関係していることを理解する。②個々の環境問題の関係性を複合的に捉える：個々の環境問題の学びを通して、それぞれの環境問題が複雑に絡み合ってリンクしていることを理解する。③考える力を身につける：環境問題を解決するためには、技術開発と同時に私たちのライフスタイルの変革を通じて社会を変えていくことが必要であることを理解し、一人ひとりができる環境保全活動について考え、実践に結びつける。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	50	0	50	0	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 環境問題の概観 ～環境問題がなぜ起こるのか?～	シラバスを読み、講義の全体的な流れを理解しておくこと。	30分
第2回 大気に関わる環境問題 ～大気は汚れている?～	大気汚染について、学習した内容を復習しておくこと。	30分
第3回 水資源と水質汚濁 ～地球上で利用できる水は多くない!?～	水資源と水質に関する環境問題について、学習したことを復習しておくこと。	30分
第4回 森林減少と利用 ～森林は増えている?減っている?～	森林減少と森林の活用の両方の視点から、学習したことを復習しておくこと。	30分
第5回 生態多様性 ～生物多様性は重要なのか?～	身近な生物多様性の問題について、学習したこともとに復習しておくこと。	30分
第6回 人口問題と飢餓・貧困 ～人口増加する世界と減少する日本における問題について考える～	人口増加が環境問題とどのように関係するかを整理しておくこと。	30分
第7回 食料生産と食品ロス問題 ～生産された食料の多くが捨てられている?～	人口増加と食料生産、食料不足と食品廃棄問題について復習すること。	30分
第8回 気候変動問題 ～地球温暖化問題にどう対応するのか?～	気候変動問題に世界各国がどのように取り組んでいるのかを復習しておくこと。	30分
第9回 化石資源とエネルギー問題 ～資源のない国のエネルギー問題～	私たちの生活とエネルギー問題とがどのように関係しているのかを復習すること。	30分
第10回 廃棄物と循環型社会1 ～人はごみを出さずにはられない!!～	私たちの生活から排出されるごみの問題について復習しておくこと。	30分
第11回 廃棄物と循環型社会2 ～リサイクルすれば、全て解決する!～	リデュース、リユースの重要性とリサイクルの現状について復習しておくこと。	30分
第12回 海ごみとプラスチック問題 ～海はプラスチックごみで溢れている!?～	プラスチックごみに対する国内・国際的な取り組みについて復習しておくこと。	30分
第13回 環境問題に対する企業の取り組み ～企業はなぜ環境問題に取り組むのか?～	企業が環境問題についてどのように取り組んでいるのかを予習しておくこと。	30分
第14回 倫理的視点からの環境問題を考える ～環境問題をどうやって解決するのか!?～	環境問題解決に向けた個人の取り組みの必要性和限界について復習しておくこと。	30分
第15回 SDGsと今後の社会転換 ～持続可能な社会について考える～(ディスカッション)	SDGsの内容を復習し、持続可能な社会について自分の考えを整理しておくこと。	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、各テーマにおける関心事や疑問点をまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
講義内で行う小課題とレポート課題(50%)

課題に対してのフィードバック

各回の小課題については、翌回の講義で解説します。レポート課題は採点后、講評します。

教科書・参考書

毎回プリントを配付する。参考書は随時、紹介する。